

第2回 新病院建設基本構想

市民ワークショップ通信

～みんなで考えよう あなたのまちの市民病院～

7月26日（土）、新城市民病院講義室で、「第2回新病院建設基本構想市民ワークショップ」を開催しました。市民や消防職員、市役所職員、市民病院職員等、49名の方にご参加いただきました。第2回は「『市民が創り、支える病院』を実現するために、ワークショップ参加者（市民）より、『市民病院に期待する役割・機能は？』、『どのような施設、設備、サービスを望むか？』の意見を出していただくこと」を目的として開催しました。

※十分な感染症対策や熱中症対策を実施し、市民ワークショップを開催しております。

1 開会

第1回では病院の現状説明や院内ツアーを通して、市民に市民病院の実情を知っていただきました。その上で、第2回は、市民病院に対してのそれぞれの意見を実際に交換する場として開催しました。開会にあたり、第1回と同様に、院長、市長からご挨拶をいただきました。

2 説明

他者の意見に「**傾聴**」して頂き、「**否定**」しないことを留意点とし、第2回市民ワークショップの進め方や注意事項について説明をしました。第1回と同様にグループに分かれ、各テーブルで以下のような意見出しをすることとしました。

- ・参加者が新病院で「実現したい、実現すべき」と思う内容について、「ソフト面」、「ハード面」に分けて意見を出す。

ソフト面：医療機能や患者サービス等

ハード面：建物、設備、駐車場等

- ・意見はそれぞれ色分けされた付箋に記入し、なぜその意見を記載したのかを説明しながら模造紙に貼り付ける。
- ・集まった意見の中から、「ソフト面」、「ハード面」それぞれ最大3つずつ、グループ全体の代表意見として決定する。
- ・決定した各グループの意見は、第3回ワークショップ開催時にグループの代表者が全体に向けて発表します。それらの中で最も重要と考える意見に参加者全員が投票を行うことで、最終のまとめを行う予定です。

3 グループでの意見出し

各グループで30分間、意見出しを行いました。どのグループでも積極的な発言が見られ、8グループで計437個の意見が集まりました。



4 グループでの代表意見決定

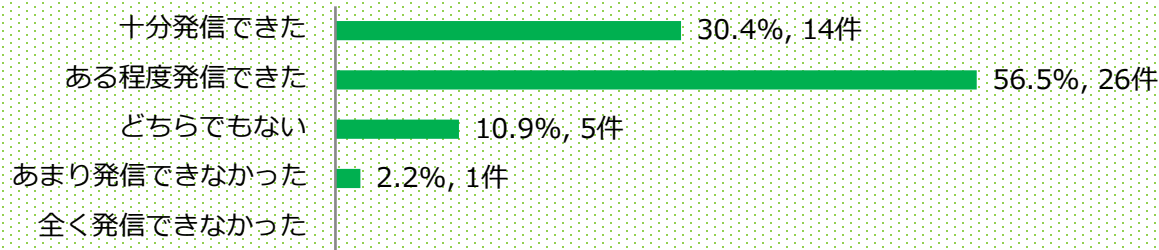
集まった意見の中から、40分間でグループの代表意見を決定しました。類似の意見が出されることも多かったため、要素をいくつかつなげてより多くの市民の意見がまとめられるような工夫も見られました。



5 アンケートの実施

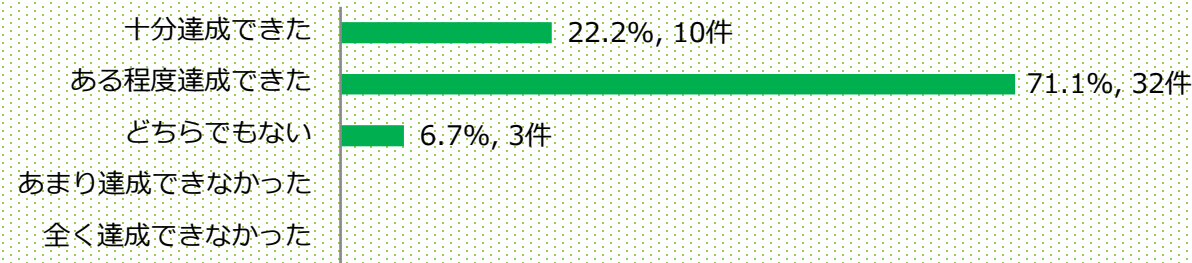
ワークショップ終了後、参加者の皆様に、アンケートを実施しました。46名の参加者から回答をいただきました。回答結果を以下に記載します。

問.グループでの発表では、ご自身の意見を発信できましたか。



問.本日（2回目）のワークショップ開催目的は達成できたと感じますか。

目標：「市民が創り、支える病院」を実現するために、ワークショップ参加者（市民）より、「市民病院に期待する役割・機能は？」、「どのような施設、設備、サービスを望むか？」の意見を出していただくこと。



～その他の自由意見～

問_自由記述の内容	
「やってよかった」という旨の意見	
1	いろいろな意見がでて、新城市民病院の新設に意欲的に話し合うことができた。新城らしい市民病院で、一人も命をまもれる病院となって欲しいと思いました。
2	活発に意見が飛びかい良かった。自分にはない気づきを発見できた。
3	可能な限り、意見を取り入れた新病院が建設できるといい。
4	新しい市民病院に向けて楽しみになっています。市民参加型なので、この機会を与えてくれた企画の方々に感謝です。
5	グループ内で、意見を出し合うとともに、幅広く意見交換、情報交換ができ、有意義なワークショップでした。グループに職員の方がいたので、市民で出し合うだけでなく、内部からの目線、意見がいただけて良かったです。

問_自由記述の内容	
「やってよかった」という旨の意見	
6	市民の方の意見が聞けたのはとても良かったです。自分では気づけなかったけど、これいるよなあというもの（ヘリポート）があり、そこに患者さんの経験から来る思いが聞けたのがとても良かったです。
7	いろいろな意見が出て、それぞれの方にとって「どんな市民病院にするか」はいろいろあって、まとめるのはたいへんな作業であると感じました。
8	自分では出なかった他の方の意見（地域を巻き込んだ運営、災害の視点）を聞いて、必要な機能だと気付くことができた。3つにしばられなかった1つひとつの意見も大切に見て欲しい。
9	同グループ（4人）の中でも各々が意見を述べ他の人の考え・意見を聞くことが出来、そこも参考になった。私がグループ内では一番年上であったが若い方々の考えがとてもりっぱでした。
10	楽しみながら意見が言えました。時間が過ぎるのがあっという間で、もっと話し合いたいくらいでした!!この話し合いの上で、新城市民に信用される病院ができると思います。
11	人の意見を耳にする機会として良かったです。
12	選択、抽出した案件の実現化を希望、有志で4回目があっても良いのでは…。
13	みなさんの意見を聞いて、同じようなことに対して不満・不安を抱えていることが分かった。今後への希望もみなさん持っているので実現に向かっていけたら良い。
14	市民の意見が聞けてよかったと思いました。
15	中身のある市民病院になるのではないかと、期待できる意見交換になったと思います。
16	たくさん意見出しました。同グループの方々の意見も聞けて良かった。次回他のグループの話が聞けるのが楽しみです。
移転場所についての意見	
17	建設ありきのワークショップでは意見を言ってもスルーになるのがむなしい。とにかく、財政面が大いに心配。負担を負うのは高齢化していく新城市民だ。今からでも遅くないので、今の建物を耐震、リフォームしてもらいたい。切に願う。
18	建てかえ（現地からの移動）を考えていたので、そんな意見になってしまいました。
19	建てかえる場所（公共交通機関が使える）をよく考えて欲しい。何よりも医師がいる病院であってほしい。財源がない中、よく考えてほしい。
20	まだいろいろと問題はありますが、まずは自分の希望や思い、困り事を出し合うことが必要だと思いました。絞り込みながら、グループの方々と意見交換できて良かったです。どこに建つのかも気になります。
21	移転前提だということを最初に確認してほしい。財源についての話が出たのでどういう財源を充てるのか説明してほしい。公設公営、公設民営かも示してほしい。
その他の意見	
22	コメントもしましたが 1 財政計画をしっかりとつくる。2 整備計画 基本構想、基本設計、実施設計、説明会、建設工事着手、開院等々。3 市民への広報 あらゆる機会をみて！
23	先生方の勤務体制 常勤の医師が少ない。患者数が最近が増えてきたが…？先生方の確保
24	入院患者、訪問患者どちらに力を入れていくのですか。
25	一応、市民の意見、要望は聞きましたよ、というレベルだと思う。病院問題は自治体のレベルで何とかなる問題ではなく、国の政策によって大きく左右されるので、どうなることやらです。
26	財政の問題もあるため、困難なこともあるが、市民の声を聴き、サービスを向上してほしい。
27	出た意見を実現する手法を本気で考えて！！

第2回の市民ワークショップは、市民の方々が物凄く熱心に考え、たくさんのご意見を出していただけて、「市民が創り、支える病院」の実現への1歩となりました。

第3回は令和7年9月13日（土）の開催となります。今回出していただいた意見を発表し、それを聞いた後、参加者全員から特に重要と考える意見2つに「いいね👍」シールによる投票を行い、本ワークショップの重点施策を決定する予定です。

また、最終的に選定した各グループの3つの意見から外れた意見に関しても、皆様方の新病院整備に対する貴重な意見として参考にさせていただきます。